

こども広報



魅力MAX
よっかいち
調査 ちょうさ

今年開館30周年
四日市市立博物館

四日市の博物館に
来たよ!今年開館
してから30周年
なんだって!

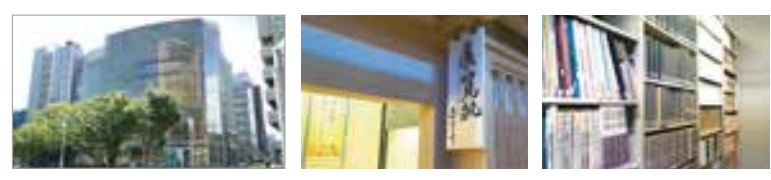
いつも展示や
プラネタリウム
を見に来ている
けど…博物館っ
て、何のため
にあるのかな?

自分たちのまちに
博物館があるこ
とはとってもステ
キなことなんだ!

え~!
そうなの?

四日市市立博物館
副館長 廣瀬 毅さん

博物館には
こんな役割
があるよ!



「資料」を集めて保管する

四日市の博物館には萬古焼・浮世絵などの美術工芸品、古文書、民具など、10万点以上の資料が保管されています。

チェックポイント
資料は当時の四日市の様子を知るために重要なものばかり。この博物館がなかったら失われていたかもしれないものも多いんだ。

「資料」を調べてみんなに知らせる

資料について調べてわかったことを展示や講座を通して、現代の人々に伝えていきます。

チェックポイント
昔や今の四日市を知ることで、未来のことを考えるきっかけになるように、みんなに知ってもらいたいんだ。

これまでの四日市を知るためにたくさんのものが保管されているんだね。

これからの四日市をステキなまちにするために必要なものなんだね。

四日市に博物館があることがとても大事だということがわかったよ!

この役割を果たすために、博物館では学芸員という専門家が中心になって働いているよ。

みなさんに四日市の歴史を伝え、未来に繋げていけるように活動していきます。

これからの四日市のためにも、博物館はあるんだね。

次ページで学芸員のお仕事について聞いてみたよ!



大好きなもの・ことをお仕事に!
誰かが「新しい発見」に出会うためのお手伝い。

よっ かいち
四日市の
ゆかりの人に聞きました。
だい 35 かい
第35回

**お仕事
おしえて**



学芸員とはどんなお仕事ですか?

川端さん・篠さん：学芸員は博物館や美術館、科学館などで働く専門の職員です。博物館が保管している資料がどんなものなのか調査・研究し、わかったことを、博物館に展示して公開します。展示の内容をよりわかりやすくする講演会やワークショップなどを開催することもあります。

お仕事に就いたきっかけ



川端さん：学芸員がテレビや新聞に出て活躍する姿を見て少しずつ興味がわいてきました。大学で美術史について学ぶ中で、美術館で実物の絵画を見て、本で見るだけでは気づけなかった

資料はどうやって集めて調べるのですか?

川端さん・篠さん：購入したり寄贈を受けたりして集めます。ただし、四日市市にゆかりのある資料かどうかを必ず確認しています。例えば絵画の場合、作者や絵に描かれているもの、作られた時代などを本やインターネットなどで地道に調べていきます。昔の生活道具の場合は、道具の辞書などで調べたり、実際に道具を使用していた地元の年配の方々に取り組みをしたりもしています。

発見がありました。その経験から実物を見ることの大切さに気づき、博物館や美術館が大好きになりました。このような美術の面白さを伝えるために、学芸員を仕事にしたいと思うようになりました。篠さん：小学6年生くらいの時に歴史の授業が始まって、とても歴史が好きになりました。中学1年生の時に、歴史に関わる仕事を調べる中で、学芸員という職業があることを知りました。そこからはずっと学芸員を目指していました。

展示はどのように考えていますか?

川端さん・篠さん：展示は、ただ資料を並べているのではなく、テーマを決めて資料を選んでいきます。資料をどのような順番で並べるか、どんな説明を付けるかなど、魅力や情報がしっかりと伝わるように工夫しています。



四日市市立博物館の常設展では、昔からこれまでの四日市の歩みを体感できる展示をしています。他にも、期間限定の特別展なども開催しています。

仕事の魅力とやりがい

川端さん：博物館に来た人が「新しい発見」に出会ってもらえることを魅力に感じています。また来たいと思ってもらえる博物館にしていきたいことが目標です。



篠さん：大好きな歴史に関わることができるのが魅力です。講演会やワークショップで、自分が面白いと思うことをみなさんに伝えることができることもやりがいになっています。

お仕事をするうえで大切にしていることは何ですか?

川端さん・篠さん：資料を汚したり、壊したりしないよう、丁寧に取り扱うことはとても大切にしています。博物館で保管している大切な資料をきちんと未来に残していけないといけないので、雑に扱って良いものはひとつもありません。そのため、資料に触れる時には手を清潔にしたり、保管する場所を一定の温湿度に保ったりするなど、ひとつひとつの資料を大切に扱っています。

子どもたちへメッセージをお願いします

川端さん：インターネットで見たり調べたりすることは簡単ですが、実物を自分の目で見ることも大切にしてください。自分の目で確かめたことや経験したことはいつまでも心に残ります。

篠さん：いろいろなものに興味をもって、勉強・体験・経験をしてみてください。そうしていくと、きっと「好きなもの・こと」につながっていきます。

普段は入れない博物館の特別な場所や学芸員さんのお仕事を詳しく見てみよう!

四日市子ども広報 検索

見つけた！ おすすめ 四日市

みなさんに教えてもらった四日市内の「すてきな」「おもしろいな」「何だろう」と思えるような場所や施設などをご紹介！

投稿してね！
投稿方法は4ページ



久保田公園

常磐小3年 水石 利安さん

高い木があって日かげが多いです。



青葉町2号公園

常磐西小4年 出口 琉加さん

春はさくらがきれいで電話ボックスもある。



松寺れいわ公園

大矢知興譲小4年 伊藤 穂香さん

広場で大きな山を作れたりするので楽しい。



川柳

投稿してね！
投稿方法は4ページ



夢の国 橋北中 3年 棚部 晴菜さん	空に飛ぶ 内部中 1年 道上 武さん	あの星の 海蔵小 6年 早川 翔さん	あのにじを 三重小 5年 清水 佳祐さん
賑げる制服の シンデレラ	無数のほたる 夏の道	一つ一つに 願いあり	くぐれとあせり かさわすれ

川柳は俳句のように季語は必要ありません。五・七・五の十七音で、生活の中で、感じたことを楽しく自由に語ってください。たくさんの投稿をお待ちしております。

四日市 ENGLISH クイズ

答え
を送ってね！
投稿方法は4ページ



四日市内の公立小中学校で活躍しているYEFの3人が、大四日市まつりでしたことについて話しています。オンラインさんが大四日市まつりでしたことは何でしょう。次の①～③のうちから、選んで番号で答えましょう。
※YEF…四日市市英語指導員のこと。

- かき氷を食べた
- 盆おどりをみた
- おみこしをかついだ

動画でチェック!

二次元コードを読み取って、3人が話をしている様子をのぞいてみよう！



6月号の答えは「③南部丘陵公園」でした。正解者の中から抽選で次の人にプレゼントをお送りしました。

クイズ 当選者

菟川小 2年 山本 陸翔さん	内部中 1年 三谷 美羽さん	内部中 1年 佐野 稟佳さん
西朝明中 1年 佐藤 陽斗さん	西朝明中 2年 笠井 理仁さん	

よっかいち 四日市 こども書店

投稿
してね!
投稿方法は
4ページ

読者が選ぶとっておきの一冊!

あなたのお薦めの一冊を40字以内で紹介してください。
市立図書館の児童書コーナーにも展示されます。

**世界初の宇宙ヨット
「イカロス」**

山下 美樹 著
出版社：文溪堂

宇宙を大冒険したイカロスのひみつがよくわかるのでおもしろいです。

**りすのきょうだいと
ふしぎなたね**

小手毬 るい 作
出版社：金の星社

ふしぎな種がなんの種か調べる所がわくわくしておもしろいです。

**きみにしか
聞こえない**

乙一 作
出版社：KADOKAWA

高校生の主人公はスマホをもっていないで、脳内の携帯電話で、とある青年に繋がるお話。

青空のむこう

アレックス・シアラー 作
出版社：求龍堂

ある日不注意でトラックにひかれて死んでしまった少年。少年がやり残した事とは…?

大矢知興譲小 1年
糸見 亮助 さん
【この本に出会った場所】
市立図書館

常磐西小 4年
近藤 美咲 さん
【この本に出会った場所】
市立図書館

笹川小 6年
久保 和花 さん
【この本に出会った場所】
図書室

西朝明中 2年
宮田 桃華 さん
【この本に出会った場所】
中学校

よっかいち
広報よっかいち
9月下旬号からの
とっておき情報

投稿募集!
11月号へ作品をどんどん投稿してください。
市立図書館に展示されることもあります!

スポーツの秋、到来! 秋の下、体を動かそう!
秋の市民ハイキング大会 10月22日(日) 9:00~13:00

- 料金:無料 ●申し込み:不要。参加希望者は、当日集合場所に来てください ●集合・受付:8:40~9:00 三岐鉄道大矢知駅、解散:三岐鉄道暁学園前駅 ●コース:三岐鉄道大矢知駅→サイクルパーク管理事務所→「伊坂ダム左周り」→子ども広場(昼食)→千秋桜→三岐鉄道暁学園前駅(約8.1km) ●持ち物:弁当、飲み物、雨具など ●保護者同伴。同伴者または介助者が必要な人は、一緒に歩行すること。小雨決行。中止の確認は、当日午前6時30分以降に、市役所警備員室(☎354-8177)へ ●問い合わせ:スポーツ課(☎354-8429)

作品が掲載された人とクイズの当選者には、四日市限定グッズなどをお送りします。(写真はイメージです)

編集後記
今回は、開館30周年を迎える四日市市立博物館取材しました。副館長からは「もし30年前に博物館ができなかったら、今では見られない資料がたくさんあったかもしれない」というお話をお聞きました。博物館は過去の四日市を知るために必要な貴重な資料を未来につなげていく大切な場所だとあらためて感じました。
また、四日市こども広報の6周年を記念して、令和5年10月20日(金)までに作品を投稿してくれた全員に、記念グッズをプレゼントします。ぜひみなさん投稿してくださいね。

投稿の方法
投稿用紙に必要な内容を書いてください。投稿用紙は各学校に置いてあります。下記のホームページからも印刷できます。

送る方法
学校の先生に渡すか、投稿ポストに入れるか、下記の編集部あてに郵便でお送りください。

締め切り
11月号分は10月20日(金)までに編集部へ(締め切りを過ぎてでもどんどん送ってください!)

宛て先
四日市市教育委員会四日市こども広報編集部
〒510-8601 四日市市諏訪町1番5号

ホームページはこちら
<https://www.city.yokkaichi.lg.jp/www/contents/1499324784643/index.html>

四日市市立博物館・プラネタリウムに来てね
秋番組:
9月12日(火)~12月3日(日)まで

次号「四日市こども広報」は令和5年11月中旬に発行予定です。